

# 歴史の扉

2000

第7号

(財) 広島市文化財団 文化科学部 文化財課

特集

石斧で切ン！

この人が持っているものがわかるかな？

これは縄文時代じょうもん じ だいや弥生時代やよい じ だいの人々が使っていた斧おの（石斧せきふ）なんだ。こんな斧で木を切り倒せたんでしょうか？？



# 石斧で木を切ってみよう!

右の写真は弥生時代の遺跡で見つかった石斧の頭の部分なんだ。鉄を造る技術がなかった縄文人や、鉄がまだ高級品で手に入りにくかった頃の弥生人たちは、石斧で立木を切って生活に必要な木をとっていたんだ。でも、本当に、石の斧で木が切れたのか、縄文・弥生人になってチャレンジしてみました。

弥生時代の石斧 (広島市佐伯区和田1号遺跡出土)



<横から> <上から>

~なつなんと!こんなに大きなものまで!!~

青森県の三内丸山遺跡(縄文時代前~中期)では直径約1mもの栗の木の柱が見つっています。現在の鉄斧でさえ切るのが大変なこんなに大きな木を石斧で切り倒したり、加工するには大変な時間と労力がかかったことでしょう。まして、こんなに大きな木で建物を造るとなると、高度な技術も必要になります。昔の人ってすごかったんですね。



巨大建築の柱(青森県教育庁)



復元された建物(青森県教育庁)



復元した石斧(上)と現代の鉄斧(下)

0分10秒経過



1. チャレンジ開始!

今回は、一般的な竪穴住居の中で、一番多く使われている屋根材サイズ、直径12cm高さ13mの木を切ることにしました。

1分36秒経過



2. 打ち込む

石斧の刃は鋭くすると欠けてしまうから、鉄斧ほど鋭くないんだ。切るというよりは木の繊維を無理に割り裂く様な感じですね。

2分30秒経過



3. 奮闘中

石斧は頭が大きくて重たいため、使うにはかなり力があるんだ。

3分20秒経過



4. 終了

ここまでかかった時間は3分20秒でした。ちなみに、鉄斧では2分50秒かかりました。このくらい木なら鉄斧と大きな差はないけど、もっと太い木となると切り口を広げないといけないので、鉄斧の倍以上の時間がかかるんだ。



▲鉄斧の切れ口



▲石斧の切れ口

切った人にインタビュー



「使い心地はどうだった?」

「左の写真は石斧と鉄斧で切った木の切れ口の写真です。鉄斧よりは重くて切れにくいけど、切れ口はほとんど変わりませんでした。鉄斧で切るより力が必要で疲れるけど、石とは思えないほどよく切れますね。思ったより使えるので驚きました。」



# 平成11年度の発掘調査

## 古墳出現～塗りかえられる瀬野川の歴史～

安芸区中野東にある成岡遺跡は瀬野川流域を見下ろせる尾根上にあります。調査では、古墳時代初頭(約1700年前)の古墳3基と弥生時代後期(約1800年前)のムラの跡を確認しました。これまで瀬野川流域では、古墳時代後半の古墳しか確認されていませんでした。

しかし、今回の調査により、古墳を造ることのできる有力者が、古墳時代のはじめには、この地域に出現していたことがわかりました。中でも、第3号古墳は弥生時代終末頃にさかのぼる可能性のある市内最古級の古墳であり、瀬野川流域だけでなく広島市域全体での、弥生時代から古墳時代への社会の移り変わりを考える上でも貴重な古墳です。また、第2号古墳では石を箱状に組み合わせたお棺(箱式石棺)の中に、がっしりした体格の男性の骨が残っており、埋葬された有力者の姿を想像できる貴重な情報が得られました。



第2号古墳石棺  
石棺からは人骨が見つかりました。



第3号古墳

### 市内で最大級の前方後円墳 ～長尾古墳群～

東区戸坂の長尾古墳群は、茶臼城山(通称西山)から街中へと伸びる尾根先に位置する全部で5基(内2基消滅)からなる古墳群です。

この古墳群を整備していくため、古墳の大きさや形などの確認調査を行いました。中でも前方後円墳の第1号古墳は、全長43mで広島市内で最大級の大きさであることがわかりました。この辺りの有力者のお墓と考えられます。



第1号古墳石棺

### こんな調査もあるのです ～分布調査～

皆さんは広島市内に遺跡がたくさん眠っているのをご存じですか。これらの遺跡を歩き回り、地表から遺跡の位置・範囲・時代などを確かめ、記録するのが分布調査で、発掘調査や保存のための基礎となる重要な調査です。遺跡のほとんどは草木が生い茂った山の中にあるので、調査は、とても苦勞します。猟師の皆さん間違っ



冬の調査風景 夏場になると前に進むのも困難に!

発行／財団法人広島市文化財団 文化科学部 文化財課

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 TEL082-248-0427/FAX082-248-8466

発行日/2000年3月31日 印刷/株式会社 広島デザインセンター